

第七十三回帝國議會
衆議院

社會事業法案外二件委員會會議錄(速記)第九回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
職業紹介法改正法律案(政府提出)

會議

昭和十三年三月十一日(金曜日)午前十時四十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 服部 岩吉君

理事片岡 恒一君 理事長野 高一君

理事野口 喜二君 理事小池 四郎君

最上 政三君 瀧澤 七郎君

庄司 一郎君 松浦 伊平君

星島 二郎君 佐保 畢雄君

太田 理一君 米窪 滿亮君

川村保太郎君 椎尾 辨匡君

三浦 虎雄君

同月十日委員鈴木文治君辭任ニ付其ノ補關トシテ米窪滿亮君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

陸軍中將 山脇 正隆君

厚生政務次官 工藤 鐵男君

厚生參與官 山本 芳治君

厚生省社會局長 山崎 巖君

厚生書記官 灘尾 弘吉君

厚生書記官 近藤壤太郎君

保險院長官 進藤 誠一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

職業紹介法改正法律案(政府提出)

○服部委員長 是ヨリ開會致シマス、通告

者ガマガ見エテ居リマセヌカラシテ、順序

ヲ變更致シマシテ川村君ニ發言ヲ許シマス

○川村委員 先日來他ノ委員諸君ノ質問ナ

ドヲ承ツテ居リマシテ、先ヅ第一ニ御尋シタ

イコトハ、營利職業紹介ノ問題デアリマス、

此點ニ付テ私共ノ承ツテ居ル所ニ依リマス

ト、政府デハ大體營利職業紹介事業ハ、モ

ウ數年前カラ禁止スルト云フ方針デ進ンデ

居ラレルヤウニ承知シテ居ッタノデアリマ

ス、是ハ數年前ニ國際労働會議デ問題ニナッ

タ際ニモ、サウ云フ風ナ方針デアッタヤウニ

承ツテ居ッタノデアリマス、所ガ先日來本會

議竝ニ此委員會ニ於キマシテ、前ノ後藤内

務大臣ノ時分ニ、何カ營利職業紹介事業ト

云フモノハ、尙ホ將來モ存續セシメテ行ク

方針ダト云フ風ナコトヲ協議サレタトカ、

意思ヲ表示サレタトカ云フ風ナコトガ屢、

繰返サレテ居ルノデアリマス、私ハ聊カ是

ハ意外ニ思ツテ居ル、サウ云フ風ナコトハ

リ得ベキ管ガナイト云フ風ニ私ハ考ヘテ居

ルノデアリマスガ、後藤内相ガ當時果シテ

サウ云フ風ナコトヲ協議シ決定サレタコト

ガアルノカナイノカ、或ハ政府ハ將來之ヲ

禁止スル方針デ進ンデ居ラレルノカ、或ハ

是ハ永續的ニヤハリ存置スルト云フ御方針

デ居ラレルノカ、其點ヲ先ヅ御伺シタイト

思ヒマス

○山崎政府委員 過日ノ本會議竝ニ一昨日

ノ當委員會ニ於キマシテ、昭和九年後藤内

相時代ニ、樞密院ニ於キマシテ營利職業紹

介事業ニ對シマスル政府ノ方針ニ付テノ説

明ガ此場合問題ニナッタノデアリマス、當委

員會ニ於キマシテ私濱野委員ニ御答ヲ申上

ガマシタヤウニ、其點ハ何等カ誤解ノヤウ

ニ考ヘラレルノデアリマス、只今モ川村委

員カラ仰セニナリマシタヤウニ、營利職業紹

介事業ニ付キマシテハ、政府トシマシテハ

從來カラ新クナ營業ノ許可ニ付キマシテハ、

容易ニ之ヲ認メナイ方針ニ致シテ來テ居ル

ノデアリマス、年々ノ統計ヲ御覽ニナリマ

シテモ分リマスヤウニ、殆ド營利業者ノ數

ハ増加ヲ致シテ居ラナイノミナラズ、漸減

ヲシテ居リマスル點カラ御覽ニナリマシテ

モ、政府ノ方針ガ自ラ明ニナルコトト存ズ

ルノデアリマス、本法ノ制定ニ當リマシテ

モ、此點ハ從來ノ方針ヲ無論踏襲ヲ致シテ

居ルノデアリマシテ、原則ト致シマシテ本

法ノ第二條ニ「何人ト雖モ職業紹介事業ヲ

行フコトヲ得ズ」ト書キマシタノハ、將來

ノ方針ヲ明ニ致シタノデアリマス、唯從來

カラ營利職業紹介ノ許可ヲ受ケマシテ、現

ニ相當ノ營業ヲ繼續致シテ居リマスル者、

竝ニ其營業ノ相續ヲ承ケマスル者ニ付キマ

シテハ、之ヲ相當ニ營業ガ立ッテ參リマスル

ヤウニ考ヘルコトガ妥當デアルト存ジマス

テ、附則ニ於キマシテ其點ヲ明ニ致シタヤウ

ナ次第デアリマス、昭和九年ニ樞密院ニ於

テ後藤内務大臣カラ説明サレマシタノハ、

全ク只今申上ゲマシタヤウナ方針デアリマ

シテ、過日來此處デ問題ニナッテ居リマスノ

ハ、何等カノ誤傳デアリマスルカ、或ハ何

處カラ出マシタノデアリマスルカ、ドウモ

其出テ參リマシタ點ガ吾々ニハ分ラナイヤ

ウナ次第デアリマシテ、後藤内務大臣ガ説

明ヲサレマシタノモ、大體只今私ガ申上ゲ

マシタヤウナコトガ説明デアッタヤウニ私

共ノ方ノ記錄ニハ殘テ居リマス

○米窪委員 只今ノ川村委員ノ質問ニ對シテ、關聯シテ質問シタイト思ヒマス

○服部委員長 許可致シマス

○米窪委員 本法ノ二十一條ニ付テ川村委員カラ御質問ガアリマシタガ、ソレニ對シテ山崎局長カラ御答ガアッタノデアリマス、之ニ付テ私多少敷衍ラシテ、更ニ同一ノ點ニ付テ御質問ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、本法ノ第十六條ニ「本法ハ船員職業紹介事業ニハ之ヲ適用セズ」ト云フ一箇條ガアルノデアリマス、其理由ニ付テハ改メテ他ノ機會ニ於テ御伺スル積リデアリマスルカラ、此點ハ本日ハ質問致シマセヌガ、此十六條ヲ私ガ此處デ申上ゲタ譯ハ、元來此職業紹介ト云フヤウナ事業ハ、一ツノ國內ニ於テ之ヲオヤリニナル時ニハ職業別、或ハ産業別等ニ於テ、取扱ノ上ニ甲乙ガアッテハ甚ダ拙イノヂヤナイカ、斯ウ云ツタ社會事業ハ其精神、或ハ其取扱ノ業務ノ範圍、斯ウ云ツタ點ニ於テハ成ベク統一的ニ、或ハ離レ離レニヤル場合デモ、其取扱ノ範圍及ビ程度ニ付テハ、是非共同ジ取扱ラスルノガ斯ウ云ツタ事業ノ根本精神ヂヤナイカト思フ、此點ハ國際勞動總會ニ於テモ此原則ダケハ常ニ力説サレテ居ル譯デアリマス、所ガ

只今問題ニナツテ居ル此第二十一條ノ營業職業紹介ニ付テハ、船員ノ職業紹介ニ關スル法規ニ於テハ、此點ニ付テハ勿論附則テ決メテ居リマスガ、之ニハ經過規定ニナツテ居ルノデアリマス、本法ニ於テハ第二條ニ於テハツキリ茲ニ營業職業紹介ヲ禁止スルト云フ表現ハ執ツテ居リマセヌガ、目的トシテ狙フ所ハ勿論有料職業紹介、或ハ營業職業紹介ハイケナイト云フコトヲ婉曲ニ決メテ居ルヤウニ私ハ解釋スルノデアリマス、ソレデ只今ノ山崎サンノ御話ノヤウニ、第二條デサウ決メテ、但シ局長ガ種々御説明ニナツテ居ラレルヤウナ理由ガアルカラ、第二十一條デ斯ウ云フ規定ガアルト云フノデアリマスガ、ソレナラバ附則ニ於テ要スルニ此種ノ營利或ハ有料ノ職業紹介ニ對シテハ暫定期間ヲ置イテ、向フ何年間ハ許ス、但シソレ以降ハイケナイ、例ヘバ現在ヤツテ居テモ向フ一年ナラ一年、三年ナラ三年ノ間ニ他ニ轉職スル準備ト用意ヲ與ヘテ置イテ、其後ハ許サナイ、是ハ船員職業紹介ノ場合ニ於テモサウ云フコトニナツテ居リマス、猶豫期間ハ一年ダツタカ、三年ダツタカ、年限ハ記憶致シマセヌガ、確ニサウ云フ規定ニナツテ居リマス、然ルニ後カラ出來ル職業紹介ニ關スル法規ガ其點ニ於テハ寧ロ私ハ規定ガ後退

シテ居ルト思フ、所謂退歩シテ居ルト思フ、既ニ十二、三年バカリ前ニ出來テ居ル所ノ船員職業紹介デハソレ程進歩シタ所ノ規定ガアルノデアリマシテ、又此十二三年間ノ實績ニ徴シテ見マシテモ、ソレニ依ッテ決シテ營業職業紹介ハ非常ナル支障ハ受ケテ居ラナイ、サウ大シタ不便、或ハソレニ對スル反對ハナイノデゴザイマシテ、極メテ圓滿ニ、圓滑ニ行ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ海上ニ於ケル過去ノ實績カラ見マシテモ、本法ニ於テ茲ニ經過規定トシテ猶豫期間ヲ茲ニハツキリ決メルト云フコトハ、決シテ陸上ニ於テモサウ支障ハナイト私ハ考ヘルノデアリマスガ、何故是ハ茲ニ漠トシテ「事業ヲ行フコトヲ得」ト云フコトニ決メテ、其期限ヲ茲ニハツキリ決メナカッタカ、要スルニ此十二三年後ニ出來ル法規ノ方ガ却テ惡イ、斯ウ云フ奇現象ガ起ツテ居ルノデアリマシテ、而モ遠カラズ復員問題ガ當然起ツテ來ル國家ノ重大ナ時期ニ於テ、サウ云ツタ復員問題ト直接關係ノアル本法案ガ、此點ニ於テ此規定ガナイコトハ、所謂畫龍點睛ヲ缺イテ居ル憾ミガアルト思ヒマスガ、此

ハ方法ナリニ不均衡ヲ來サナイヤウニシナケレバナラスト云フコトハ、全然御同感ニ存ズルノデアリマス、現行法ニ於キマシテ營業職業紹介事業ヲ從來カラ認メテ參リマシタ理由ニ付キマシテハ、米窪サンモ能ク御諒解下サルコトト思ヒマスガ、結局ハ現在ノ公營其他ノ無料ノ職業紹介事業ト云フモノガ、全國的ニ十分ノ機能ヲ發揮シナイ現状ニ於テハ已ムヲ得ナイト云フ點ニアルヤウニ考ヘルノデアリマス、今回職業紹介法改正法ガ幸ニ御協賛ヲ得マシレバ、先日來申上ゲテ居リマスルヤウニ、全國四百箇所ノ國立ノ紹介所ガ、適正ナル配置ノ下ニ各地方ニ相當ノ機能ヲ發揮シ得ルコトト考ヘルノデアリマス、唯併ナガラ是ガ實施ニ付キマシテハ、今後相當ノ努力ヲ拂ヒ、且又相當ノ年月ヲ經ナケレバ、十分ニ全國的ニ所謂職業紹介網ヲ張りマシテ、機能ヲ發揮スルコトハ相當困難デアルト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ現在ノ状態ニ於キマシテハ、現ニ許可ヲ受ケテ居リマスル範圍ノ營業職業紹介事業ト云フノモヲ認メテ行クコトハ、是亦已ムヲ得ナイ事情デハナイカト考ヘルノデアリマス、現在許可ヲ受ケテ居リマス營業職業紹介事業ノ内容ヲ見マシテモ、中ニハ相當不都合ナ場合モアルカト思

ヒマスガ、又一面カラ考ヘマスレバ家内職業、其他ニ付キマシテハ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居リマスヤウナモノモアルノデアリマシテ、之ヲ期限ヲ付シテ今直チニ禁止スルヤウナコトニ致シマスコトニ付テハ、相當考慮ヲ要スル點ガアルヤウニ考ヘマシテ、第二十一條ノヤウナ規定ヲ附則ニ置キマシタヤウナ次第デアリマス、固ヨリ復員問題ト云フヤウナ、時局當面ノ問題ニ付キマシテハ、第二十一條ニ掲ゲマス營利職業紹介所ニ期待スルコトノ出來ナイノハ勿論デアリマシテ、此點ニ於キマシテハ今回ノ國立ノ職業紹介所ヲ一日モ早く完備致シマシテ、是ガ對策ニ遺憾ナキヲ期シテ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○米窪委員 繰返シテ御尋シマスガ、前ニ經過規定ヲ設ケテ、或ル年限ノ猶豫期間ヲ設ケレバ、今言ハレタヤウニ、今直チニ禁止スルト云フコトニナラナイノデアリマスカラ政府當局ニ於テ行クハ營利職業紹介所ヲ禁止スルト云フ御精神デ本法ヲ起案サレタトスルナラバ、寧ロサウ云フ期限ヲ此際ニ拵ヘタ方ガ業者ニ對シテ親切ヂヤナイカ、永久ニ之ヲ許スト云フコトデアレバ別デスガ、根本精神カラ言ッテ、當然是ハ或ル期間ガ過ギタ時ニハ、此營利職業紹介、

或ハ有料ノ職業紹介ニ對シテハ禁止スルノガ本當ヂヤナイカト考ヘテ居リマス、ソコデ私ハモウ一遍御尋シタイノハ、政府御當局ガ起案當時ニ於テ、既存ノ營利職業紹介ハ永久ニ之ヲ許スト云フ御考デアルカ、或ハ現行ノ法規ノ中ニハ現レテ居ラナイガ、行クハ改正ヲシテ、營利職業紹介ハ許サナイト云フコトデ、近キ將來ニ於テ改正法律案ヲ御出シナル積リカ、其點ヲ御尋シマス

○山崎政府委員 現在ノ狀態ニ於キマシテハ、營利職業紹介事業ハ現ニ許可ヲ受ケテ居リマスル者、竝ニ其許可ヲ受ケタ者カラ相續ヲセラルル場合ニ於キマシテハ、之ヲ許スト云フ方針ニ御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス、唯併ナガラ先程モ申上ゲマシタヤウニ、國營ノ職業紹介所ガ十分ニ機能ヲ發揮致シマシテ、營利職業紹介事業ノ竝立ヲ必要トシナイ時期ガ參リマシタナラバ、ソレハ當然其場合ニ本法ノ改正案ヲ、議會ノ協賛ヲ仰グト云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

○川村委員 ヤハリ今ノ點ニ付テ御尋シタイト思ヒマス、是ハ何デモモウ十年位前ダト思ヒマスガ、一度労働會議デ條約案ガ結バレテ、三年以内ニ禁止スルト云フコトニ

ナツテ居ルト私ハ思フ、勿論是ハ批准サレナケレバ日本ニ於テ實行サレヌト云フコトニナルノデアリマスガ、三年以内ニ營利紹介事業ヲ廢メサセルト云フコトガ、一度條約デ決ツタコトガアルンダカラ、廢メサセル方針デ以テ進ンデ居ルナラバ、私ハ今日マデニ相當準備ガ進ンデ居ナケレバナラヌ筈ト考ヘル、營利紹介事業ノ中ニハ、今御答辯ニナリマシタヤウニ眞面目ニヤッテ居ルモノモ勿論アリマスケレドモ、隨分弊害ノ多イコトモ周知ノ事實デアリマス、殊ニ婦人ノ紹介業ナドニ付テハ色々弊害ガ多イノデ、サウ云フ點ガ考慮サレテ營利紹介業ヲ廢メサセルト云フコトニナツタト思フノデアリマス、若シサウ云フコトヲ御認メニナツテ居ルナラバ、今日マデニモット準備ガ出來テ居ナケレバナラヌ筈ヂヤナイカト私ハ考ヘル、廢メサセル方針ダト云フコトヲ御答辯ニナツテ居リマスカラ、ソレ以上聽ク必要ガナイヤウナモノデアリマスガ、其點ニ付テ今日マデドレダケノ御準備ヲ爲サツタカドウカト云フコトヲ一ツ御尋シタイ

○山崎政府委員 重ねテ御尋デアリマスカラ、御答申上ゲタイト存ジマス、營利職業紹介事業ノ存在シマシタ理由ハ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、公營ノ現行ノ職業紹介法ニ依リマスル職業紹介事業ガ、全國的ニ之ヲ見レバ十分ニ活動ノ出來テ居ラナイヤウナ地方モアルヤウナ現狀デアアル譯デアリマス、今回國營ヲ計畫致シ、此改正案ヲ御協賛ヲ仰グコトニナリマシタノモ、全ク此公營無料ノ主義ヲ採ッテ居リマス所ノ職業紹介事業ヲ、全國的ニ打テバ響クヤウナ機能ヲ發揮スルヤウナ仕組ニ致シタイト云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、此國營ヲ計畫致シマシタノモ亦一面カラ見レバ、營利職業紹介事業ニ對シマスル將來ノ方針ヲ明ニシタト云フコトガ、御答ガ出來ルカト考ヘルノデアリマス、之ヲ要シマスルノニ國營ノ職業紹介所ガ十分機能ヲ發揮シ得マシヤウナ時期ガ參リマシタナラバ、自ラ營利職業紹介事業ニ對シマスル政府ノ方針ナリ、或ハ又政府ノ爲スコトモ自ラ變テ來ルコトト御諒解ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス

○長野委員 一寸關聯シテ御尋シタイ、此職業紹介所問題ノ委員會ニ於キマシテ、質問ノ中心ハ只今ノ營利職業紹介所ニ關スル點デアアルヤウニ思フノデアリマスガ、御話ヲ承ッテ居リマス、從來ニ於キマシテモ政府ハ營利業者ノ仕事ヲ漸減ノ方針ヂヤッテ來テ居ル、更ニ此今回ノ法案ガ成立ヲ致シ

マシテ、其機能が段々發揮サレルト共ニ、彼等ノ營業モ終リニナルデアラウト云フコトヲ暗示サレテ居ルヤウデアリマスガ、サウ云フ御方針デアルト致シマスレバ、一體ソレハ何處ニ「ポイント」ヲ置イテオ居デニナルデアリマセウカ、例ヘバ川村君ノ今御話ニナリマシタヤウニ現在ノ營利職業紹介所ノ中ニハ非常ニ不都合ノ者ガアル、殊ニ婦人取扱關係ノ方面ニ於テハ、特ニサウ云フ風ナ者ガアルカラシテ、廢メサセルノダト云フコトガ其理由デアリマセウカ、ソレトモ

ノハ、滅亡シテ行クダラウト云フ御話デアリマシタ、ドウモ先程ノ保護シテ行クト云フ御言葉ト、只今ノ答辯ト矛盾スルヤウニ思ハレルガ、是ハ一ツハッキリ御説明願ッテ置キタイト思フデアリマス

國際聯盟方面デ喧シク唱ヘテ居リマシタ所ノ、失業シテ困ツテ居ル者ヲ取扱フ商賣ガ、手數料ヲ取ツテ、之ヲ生活ニスルト云フヤウナヤリ方ハイケナイノダト云フノデ之ヲ減ラサウ、或ハナクシテ行カウト云フコトニ重點ヲ置イテオ居デニナルデアリマセウカ、之ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイ、モウ一ツハ先刻ノ山崎政府委員ノ御説明ニ依リマスルト、

○山崎政府委員 職業紹介事業ニ付キマシテハ、之ヲ求人者ノ側カラ見マシテモ、亦求職者ノ側カラ見マシテモ、公益無料ノ原則ヲ執リマスコトガ適當デアルコトハ申ス迄モナイ點デアルト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ從來カラ出來ルダケ公益無料ノ職業紹介事業ノ發達ニ力ヲ注イデ參ッタクコトモ御承知ノ通りデアリマス、唯今回ノ改正法ニ當リマシテ、特ニ附則ニ於キマシテ營利職業紹介事業ヲ認メマシタノハ、全ク此營利職業紹介事業ノ從來カラノ働キヲ認メ、

現在許可ヲ受ケテ營業スル者ハ保護シテ行カネバナラスト云フ御話デアリマシタガ、只今ノ御話ニ依ルト、段々全國ニ紹介網ヲ張ッテ、聯絡委員ヲ置イテ、色々聯絡統制ヲ圖ルト云フコトニ依ッテ、國ノ經營スル機關ノ機能ヲ發揮セシメルト云フコトニナレバ、ソレニ依ッテ段々現在ノ營利業者ト云フモ

所ガ相當ノ働キヲ致シマスマデニハ、又期間モ要スルコトデゴザイマスカラ、兎ニ角從來カラ營業ヲ致シ、又其營業ヲ致シテ居ル者ノ相續ヲ承ケル範圍内ニ於テハヤハリ之ヲ認メテ行クト云フコトガ、現下ノ事態カラ考ヘマシテモ適當デアルト云フノデ、此附則ヲ認メテ次第デアアルノデアリマス、此附則ニ依ッテ御覽戴キマシテモ分リマシヤウニ、新ナル許可ヲ將來認メナイト云フ

點ニ於キマシテハ、將來ハ全ク公益無料ノ職業紹介事業ノ發達ニ力ヲ入レテ行キタイト云フコトガ、自ラ御分リ下サルコト考ヘルノデアリマス、繰返シテ申上ゲマスガ、公益無料ノ職業紹介所ノ發達ニハ相當ノ時日ヲ要スルコトデアリマスシ、又現ニ許可ヲ受ケテ營業ヲ致シテ居リマスモノヲ廢メサセルト云フヤウナコトハ、如何デアラウカト云フノデ、之ヲ認メテ行ク、保護シテ行クト云フコトニ原則ヲ定メテ居ルヤウナ次第デアリマス

○長野委員 サウスト保護スルト云フコトト、認メテ行クト云フコトハ必シモ一致シナイト思フノデスガ、唯現在ノモノヲ之ニ依ッテ直グニ廢メサス、或ハ相續ヲ許サヌト云フダケデハ、保護ニナラスト思フノデスガ、今ノ御話ニ依リマスルト、兎ニ角今同ノ案ニ依ル國營職業紹介所ト云フモノノ機能ガ、段々ト發揮セラレルヤウニナレバ、斯ウ云フ風ナ現在ノ營利業者ガ滅亡スルト云フコトハ御見込ヲ付ケテ居ラレル譯デスネ

旨デ附則ヲ置イタノデアリマス、唯併ナガラサウ云フコトノ必要ガナクナルト云フ場合ニハ、更ニ本法ノ改正ニ關シマスル法律案ノ協賛ヲ仰グコトニ相成ルト思ヒマスガ、現状ニ於キマシテハ只今申上ゲタヤウナ次第ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○川村委員 只今ノ營利職業紹介所ノ問題デモウ一ツハッキリシナイト思フノデスガ、私共ノ營利職業紹介業ヲ成ベク廢メテ貫ヒタイト言フ趣旨ハ、有料トカ、無料トカ云フコトハ實ハ大シタ問題デナイト考ヘテ居ルノデアリマス、現在營利職業紹介業者ガ有料デヤッテ居リマスケレドモ、ソレハ雇主ニ紹介料ヲ負擔サシテ居ルノダト云フ風ナ御意見ガ先日アリマシタケレドモ、是ハ雇主ニ負擔サシテ居ッタク所デ、或ハ雇人ニ負擔サシタク所デ、實ハ大シタ相違ハナイノデ、何等カノ形デ是ハ轉嫁サレル、又事實ニ於テ就職後給料ナドノ中カラ單ニ紹介料バカリデナシニ、身許保證金トカ、何トカ云フ名目デ隨分取ツテ居ルノデアリマス、有料トカ無料トカ云フコトハ、私ハ大シタ問題デナイト思フ、問題ニナルノハ、營利ヲ以テ職業ヲ紹介スルト云フコトニナリマスト、ソコニ色々弊害ガ生ズルノデス、成ベク金儲ヲシナケレバナラストモノダカラ、

○山崎政府委員 少クトモ現狀ニ於キマシテハ、現ニ許可ヲ受ケ、又許可ヲ受ケテ居リマス者カラ相續ヲ致シマシタ範圍ノ營利職業紹介所ハ認メテ參リタイ、斯ウ云フ趣

旨デ附則ヲ置イタノデアリマス、唯併ナガラサウ云フコトノ必要ガナクナルト云フ場合ニハ、更ニ本法ノ改正ニ關シマスル法律案ノ協賛ヲ仰グコトニ相成ルト思ヒマスガ、現状ニ於キマシテハ只今申上ゲタヤウナ次第ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス

隨分嘘ノコトヲ言ッテ人ヲ搔キ集メテ來ル
トカ、或ハ一度就職シタ者ヲ唆カシテ又
他ニ轉職サセルトカ云フ風ナコトガ生ジテ
參リマスシ、時トシテハ良カラヌ職業ヲ勸
メルト云フ風ナコトモ出來テ來ルノデアリ
マス、是ハ人ノ一生ヲ誤ラセルト云フヤウ
ナ弊害ガ、實ニ多大ナルモノガアルト考ヘ
ル、私共ノ要求シテ居ルノハ、有料トカ
無料トカ云フコトデハナシニ、兎ニ角營利
ノ目的ヲ紹介サセルト云フコトガ、多クノ
弊害ヲ流スト云フ風ナ虞ガアルノデ、私共
ハ之ヲ禁止シテ貫ヒタイト考ヘテ居ルノデ
アリマスガ、政府ハソコノ「ポイント」ヲド
チラニ置カレルノカト云フコトヲ、モウ一
度ハッキリ御答辯ヲ願ヒタイ

○山本政府委員 私途中カラ中坐シテ居リ
マシタノデ、前ノ御質問ハ聽イテ居リマセ
ヌガ、先刻來川村君ノ御質問ヲ聽キマス
ト、營利職業紹介ヲ禁止スル方針ヲ執ル根
本ノ理由ハ、有料、無料ノ問題デハナクシ
テ、所謂悪周旋業者ガ發達スル、其弊ニ堪
ヘヌカラ之ヲ禁止シタラドウダト云フ御意
見ノヤウニ承ルノデアリマス、併シ其點ハ
從來ノ内務省令ニ依リマシテモ、是ハ川村
君モ御承知グラウト思ヒマスガ、營利職業
紹介法ノ第十五條ニ、違反行爲ノアツ者ハ

事業ヲ停止スル、又許可ヲ取消スコトガ出
來ル、ソレカラ紹介業者ガ其事業ヲ行フノ
ニ不適任ト認メタ場合モヤハリ許可ヲ取消
シ、又事業ヲ停止スル、斯ウ云フ規定ガア
リマスカラ、其弊害ハ從來ノ内務省令デモ
取締ルコトガ出來ル、是正スルコトガ出來
ルノデハナイカ、ソコデ先刻來局長カラ説
明致シマシタ通りニ、一面ニ於テ國營ノ紹介
事業ガ十分機能ヲ發揮スルマデハ、現在ノ
民間ノ事情ニ於キマシテハヤハリ小營利紹
介業者ノ機能ガマダ發揮セラレツ、アルノ
デス、是ハマアオ互ノ體驗カラ御考ニナッテ
モ分ルト思フノデアリマス、ヤハリ女中ヲ
置イタリスル時ハ、從來ハ公營、今後ハ國
營ニナル譯デアリマスガ、サウ云フ公開的
ノ紹介所ヨリモ、現在營利職業紹介所ノ方
ガ適切ナ機能ヲ發揮シテ居ルト云フコトヲ
モ一面考ヘナケレバナラヌ、先刻來局長ガ
説明セラレタノハ國營、公營ノ事業ガ十分
ニ機能ヲ發揮スルマデト云フ抽象的ノ御言
葉デアリマスケレドモ、現在民間ニ於テハ
相當ニ此營利職業紹介業者ガ機能ヲ發揮シ
テ居リマス、是ハオ互ノ體驗カラ御考下サッ
テモ分ルト思ヒマス、ソレト先刻局長カラ
モ説明致シマシタ通りニ、折角其事業デ以
テ生活ヲ營ンデ居ル者ヲ、俄ニ廢メサスト

云フコトハ、國民生活ヲ脅カスト云フ點ヲ
モ考慮ニ入レマシテ、立案致シタノデアリ
マス、先ヅ此程度ノ立案ガ一番適切デハナ
カラウカ、政府デハ左様考ヘテ居ル次第デ
アリマス

○川村委員 只今御答辯ノ趣旨ハ私共モ認
メヌ譯デハナイノデス、眞面目ニ紹介シテ
居ル業者モソレハ勿論ゴザイマス、私ノ御
尋シテ居ルノハ其點ヲ御尋シテ居ルノデハ
ナイノデ、政府ハドチラニ「ポイント」ヲ置
イテ居ラレルノカト云フコトガモウ一ツハッ
キリシナイト云フノデ御尋シタダケノコ
トデアリマス、強イテソレヲドウ斯ウト言
フテ、直グニ今私ハ之ヲ禁止セヨト云フノ
デハナイノデ、相當準備スル必要ガアルノ
デアリマス、私ハ今日尙ホ營利業者ノ多
少ノ存在ノ理由ハヤハリアルト思ヒマス、
隨テ之ヲ廢メササウト思ヘバ、公營ノ
紹介所ノ方デ相當準備シナケレバナラヌ
ト思フ、私ハ大阪デアリマスガ、大阪
ノ方デモ大體營利紹介業者ノ方デハ紹
介モヤルガ、一ツハ宿ノヤウナコトモ
ヤッテ居リマス、紀州宿トカ、讚岐宿ト云フ
風ニ昔カラサウ云フ名デ呼バレテ居ッテ、田
舎ノ子女ヲ此處ニ泊メテ置イテ、サウシテ

紹介スルト云フ風ナコトヲヤッテ居ルノデ
アリマス、私ハヤハリサウ云フ風ナコトモ必
要ダト思フ、ダカラ公營ノ紹介所デ若シサ
ウ云フ風ナコトモヤラウト思ヘバ、ヤハリサ
ウ云フ設備ヲシナケレバナラヌカト考ヘル
ノデス、唯サウ云フコトヲヤッテ居ルカラ、
ソコニ又一ツノ弊害モ生ジテ來ルノデ、自
分ノ家ニ泊メテ置イテ紹介スルノデアルガ、
他ニ又口ガ掛ッテ來ルト、折角紹介シテ貫ッ
テ行ッテ居ル者ヲ、マア氣ニ入ラナケレバ他
ノ方ヘ替ヘテヤラウトカ言ッテ罷メサセテ、
自分ノ所ニ又泊メテ、他ノ紹介スルト云フ
風ニ、廻シテ居ルト云フ弊害モ随分アルノ
デアリマス、又泊メテ居ル間ニ色々ナ問題
モアルノデアリマス、尙ホ又金儲ケノ爲ニ
風紀上良カラヌ職業ヲ勸メルト云フ風ナコ
トモ起ッテ來ルノデアリマス、サウ云フ風ナ
點カラ、私共ハヤハリ是ハ廢メタ方ガ宜イ
ノダ、併シ之ヲ廢メサス爲ニハ、公營紹介
所ノ方デ、ソレニ代ルヤウナ一ツノ設備ヲ
スル必要ガアルト私共ハ考ヘル、成ベク之
ヲ禁止スルト云フ方針デヤッテ行カレルナラ
バ、公營ノ紹介所ノ方デソレニ代ルヤウナ
モノヲ今後準備ヲシテ行ク必要ガアルノデ
ハナイカト云フ風ニ考ヘマスノデ、其點ニ
付テドウ云フ方針ニ御進ミニナルノカ、一

ツ御伺シタイ

○工藤政府委員 モウ今マデ兩君カラ御答

申上ゲマシタ點デ、大體盡シテ居ルヤウデアリマスケレドモ、如何ニモ御話ノヤウデスト、マダ本當ノ「ポイント」ニ觸レテ居ナイカモ知レマセヌ、此間濱野委員カラ此點ニ對シテノ御質問ガアツタノデス、民營ノ現在ノ紹介所ヲ認メルノカ、或ハ全部國營ニ纏メルノカ、端的ニ言フト斯ウ云フヤウナ御質問ガアリマシタ、其時私ハ政府ノ意見トシテ斯ウ答ヘテ置イタノデス、此種類ノ營業ハ長イ間ノ歴史ヲ持ツテ、社會ノ必要ニ促サレテ自然ニ發生シ來レルモ、種々ノ弊害ガ起ルカラ、之ニ對シテ相當制限ヲ加ヘテ行カナケレバナラス、即チ初メハ民營デ發達シタガ、後ニハ到頭之ヲ公益事業トシテ公共團體デヤルヤウニナツタ、併シ時代ノ要求ハ更ニ進展シテ來タ爲ニ、國營デ以テ之ヲ統制シテ強化シタ方ガ宜カラウト云フコトニナツテ來タカラ、今回之ヲ國營トシヨウト云フノデアリマス、此仕事ノ社會ニ發生シテ以來、發達シテ來テ居ル狀態カラ見ルト、ヤハリ國營ニ目標ヲ置イテ進ンデ行クノガ當然デハナイカト思フノデス、併シ是ハ國營ニ致シマシテモ、御話ノヤウナソレゾレ準備モ必要デアルシ、又法律ハ或ル場

合ニ於テハ過渡的ノ立法デ進ンデ行カナケレバナラスカラ、早ク斯ウスルモノダト云フコトノ見込ヲ付ケテ行クノモーツノ方法デアルケレドモ、ヤハリ時代ノ推移ヲ見ルノモ必要デアリマスカラ、今日此程度ニ置イテ、一面ニ於テハ其弊害ヲ嚴ニ取締ルト共ニ、一面ニ於テハ國營ニ依ツテ略、十ノモノナラハツ迄デモ、之ヲ統制強化シテ行クト云フヤウナ考カラ、茲ニ斯ウ云フ風ニヤッタノデアルカラ、ハッキリ今之ヲ全部國營ニシテ行ク積リデアルト云フコトハ、政府ト雖モ斷言シ切レナイデアラウト思フノデアリマス、ソレデアルカラ、ヤハリ今日此位ノ程度デ止メテ居ルヤウナ譯デスガ、併シ今ノ御説ノ大阪ノヤウナ設備ハ、是ハ將來當然進メナケレバナラス問題ダト思フノデスケレドモ、要スルニ是ハマダ四百位ノモノヲ設備スルノデ、他ニ營業紹介モ殘ッテ居ルヤウナ譯デスカラ、漸次ソレ等ガ時代ノ要求ニ迫ラレテ廢メルヤウナコトニナレバ、ソレニ代ッテ國家ガ種々ナル設備ヲ整ヘナケレバナラスト思フノデスケレドモ、マア今年國營ヲ初メテヤルモノデスカラ、其結果ニ基イテ、必要ナル經費ハ大藏當局ト交渉シテ、サウ云フナクテハナラヌヤウナ設備ヲスル、即チ民間デ今ヤツテ居ルヤウナ設

備モ整ヘ行テカナケレバナラスト云フヤウナ機會モ、或ハ來ルダラウト考ヘテ居リマス、唯遺憾ナガラマダ今日ニ於テハ國營ニシテ行クノダ、而モ民營モ認メルノダト云フヤウナ譯デ、アナタ方ハ萬國勞働會議ナドノ決議ノ精神ヲ根據トシテ、國營ニスルナラ全部國營ニスルト云フ御議論デアルケレドモ、ドウモ勞働會議アタリデヤッタヤウナ工合ニハッキリシタ方針ヲ以テ、日本ノ今日ノ狀態デハマダ進ミ兼ネルト思フノデスケレドモ、大體ノ原則トシテハ、マア國營デ進ムノガ此法律ノ立前ニナツテ居ルト云フコトダケハ御諒承ヲ願ヒマス

○米窪委員 此問題ハ非常ニ重大ナ「ポイント」デ、恐ラク本法デ一番是ガ重大ナ所

デハナイカト思ヒマスカラ、此點ニ關聯シテ御質問申上ゲタイト思ヒマスガ、御許シ願ヒマス

○服部委員長 米窪君

○米窪委員 先程工藤サンノ御説明ガアリマシタ此二十一條ノ點ハ、長野委員カラ先程御質問ガアツタノデアリマス、之ヲ二十一條ノ所謂附則デ以テ、現在營利職業紹介ヲヤツテ居ル者ニ對シマシテ許スト云フコトノ理由トシテハ、長野君ノ質問ノ中ニ述ベラレタ、即チ營利ト雖モ日本ノ今日

ノ現状、或ハ國民性、サウ云フモノニ基イテ或ル特殊ノ求人ニ對シテ、或ハ求職ニ對シテハ非常ニ運用ノ妙ヲ極メテ居ルコトハ、吾々ハ決シテ否定ハシマセヌ、併シソレデアルカラト云ツテ、職業紹介ヲ國營ニシテ之ヲ統一スルト云フ大精神ニ對シテハ、是ハ飽迄モ經過的ナ、除外的ナモノデ、アツテ是ハ早晚成ベク早く恒久的ニ國營ニ統一シ、サウシテ營利及ビ有料ノ職業紹介形態ハ、多少ノ便利ガアツテモ、是ハヤハリ國營ノ線ヘ吸收シナケレバナラスト云フコトハ、度々政府ノ御當局ノ説明デ能ク分ツタノデアリマスガ、是ハ先程川村委員ノ質問中ニアツタ通り、其精神ハソレ宜イトシマシテモ、國營ニ持ツテ行ク爲ニハ、長野委員ノ指摘シタヤウナ、特殊ノ求人、求職ニ對シテハ準備ガ要ル、其準備ノ一ツノ方法トシテハ、所謂宿泊所ノヤウナモノヲ、今日ノ有料職業紹介業者ハヤツテ居ルノデアリマス、是ハ船員職業紹介法トモ關係ガアツテ、海上モ同様デアリマスガ、有料職業紹介所ノ良イト稱スル點ハ、實ハ其處ニアルノデアリマシテ、即チ田舎カラ出テ來タ下男トカ、女中ノ志願者ガ高イ金ヲ拂ッテ宿屋ニ居ルコトハ不經濟デアル、又ソコニハ誘惑モアル、ソコニ於テ職業紹介ヲスル者ガ其處ニ

泊メテ置クト云フコトガ、一方ニハ非常ニ

良イ點デアリマスガ、又他方ニ於テハ、ソ

レガ爲ニ色々ナ情弊ガ起リテ來ル、例ヘバ

泊メテ居ク間ノ費用、食料、小遣錢、斯ウ云

フモノヲ實費デ貸シテ、結局ソレニ利子ト

云フヤウナ意味ヲ付ケテ、愈々職業紹介ガ成

立シテ行ク時ニ給料カラ頭ヲ撥ネル、斯ウ

云フコトハ、海上ニモ陸上ニモ事實問題ト

シテアルノデアリマス、聞ク所ニ依リマス

ト、政府ニ於テハ六百萬圓ト云フ大ナル

豫算ヲ出シテ本法ヲ實施シテ行カウト云フ

御精神デアル以上ハ、此二十一條ニ依ッテ

一部ノ除外例ヲ認メテ居ルガ、行ク／＼ハ

之ヲ國營ニ移スト云フ精神デアルト云フコ

トハ、先程厚生次官カラモ御説明ガアリマ

シタ、其準備トシテハ、政府ハ當然宿泊所

ヲ國營トシテ、此職業紹介事業ト宿泊所ト

ハ不可分ノモノデアルカラ、宿泊所ヲ設ケ

ル、是ハ勿論無料ト云フ譯ニハ行カヌデセ

ウガ、實費ノ宿泊所ヲ設ケテ、サウシテ有

料職業紹介所ノ特長デアリ、良イト言ハレ

テ、賞讃サレテ居ル所ヲ、行ク／＼ハ政府

ガ代行スルト云フコトガ必要デハナイカト

思フノデアリマス、サウ云フ御用意ガアル

カ、若シ今日ナケレバ、近イ將來ニ於テ其

方面ノ施設ヲ爲サル御考ガアルカドウカ、

是ガ第一ノ質問デアリマス

第二點ハ、私二月三日ノ豫算總會デ厚生

大臣ニ質問致シタノデスガ、申ス迄モナク、

本法ヲ立案サレタ色々ノ理由ノ中、一番主ナ

ル問題ハ、復員問題ニ處スル爲デアル、其

復員問題ニ處スル爲ニ、吾々ガドウシテモ

考ヘナケレバナラヌ點ハ、所謂勞働者ニ對

スル技術教育、職業教育ノ必要デアル、此

技術教育、職業教育ヲ徹底スル爲ニハ、ヤ

ハリ職業紹介事業ト關聯シテヤラナケレバ

到底其效果ハ擧ラナイ、之ヲ別ニヤルコト

ハ、其間ニ連絡ガ執レナイデ甚ダ不便デア

リマスガ、政府ハ行ク／＼ハ勞働者ニ對ス

ル技術的ノ再教育トカ、或ハ臨時工ニ對シ

テ技術ヲ與ヘルト云フ教育、サウ云ツタ教

育ト云フコトヲ職業紹介事業ノ一ツノ部門

トシテオヤリニナル方針デアルカ、此二點

ヲ伺ヒマス

○工藤政府委員 先刻ノ川村サンノ御尋ノ、

國營民營ノ「ポイント」ハ大體御諒解ダと思

ヒマスガ、更ニ進ンデ今度ハ現在ヤッテ居

ル所ノ口入業者ナドノヤッテ居ル良イ所ヲ

國家デヤッテ見タラドウカト云フコトハ、實

際其必要ガアルト云フコトノ結論ヲ得マス

レバ、是ハ政府デヤッテ差支ナイ、ヤルコト

ニ於テ非常ニ效果ガアルドラウト思フノデ

ス、是ハ其點デ大抵御諒解ガ得ラレルドラ

ウト思ヒマス、第二ノ勞働者ノ再教育、是

モ異存ハナイノデス、ケレドモ一體何處デ

スベキモノデアルカ、ソレハ分ラヌデスケ

レドモ、兎ニ角口入ト云フ單純ナル言葉デ

ナク、之ヲシテ紹介スル者モ、求メル者モ、

求メラレル者モヤハリピッタリ合フテ行ク所

ニ、職業紹介所ノ目的ガアルト云フコトニ

ナレバ、サウ云フヤウナ勞働者ノ適材ヲ、

更ニ一層適切ニ再教育ヲシテ行ク方法モ大

變良イ案ガラウト思フノデス、唯併シ政府

ハ今準備ガアルカト申シマス、漸ク國營

ニナツテ、是カラ生レヨウカト云フ時デアリ

マスカラ、隨テマダ十分ニ斯ウ云フ方法ナ

ラバ宜シイト云フコトノ確信ハ持チマセヌ

ケレドモ、之ヲ研究シ、結論ヲ得ルダケノ

資料ハ十分持ツテ居リマス、外國ノ例モ調ベ

テ居リマスシ、日本ノ實情モ調ベテ居リマ

スルカラ、或ハ近イ將來ニ於テサウ云フ方

ニ迄一步進ンデ行クノデナイカ、此法案ニ

モアル通りヤハリ指導機關、或ハ補導機關

ト云フモノハ自ラアリマスカラ、此問題ガ

内容サヘ改ッテ行キマス、改正ガ現在ノ法

律ニ迄觸レテ行クコトガ出來ルドラウト思

フ、デスカラ御説トシテ、今質問デアリマ

スケレドモ、アナタ方ノ御考ニハ決シテ政

府ガ反對シテ居ルノデモ何デモナイ、ヤハ

リ其處マデ行クベキモノデアルト云フコト

ダケハ、政府トシテモ考ヘテ居ルノデアリ

マス、唯何時カラ實施スルカト云フコトハ

自ラ調査ノ結論ヲ得タ上デナクテハイケマ

セヌカラ、此點御諒解願ヒタイ

○山本政府委員 モウ一ツ今ノ答辯ヲ補足

シマス、只今ノ御尋ニ對スル答辯ハ政務次

官ノ御答辯ニ依ッテ要ヲ盡シテ居ルト思ヒマ

スケレドモ、第一點ニ付テ一言補足シタイ

ノハ、最近ノ公營ノ職業紹介所デハ、只今

米窪君カラ御話ノアリマシタ無料宿泊所ノ

ヤウナモノハ追々準備ヲ整ヘツ、アルヤウ

ナ譯デス、其方針ハヤハリ國營ニナリマシ

テモ繼續シテ、益々擴大スル方針デアリマス、

第二ノ職業教育ノコトハ、條文ノ上デハ職

業補導ト云フ風ナ極ク空漠タル文字ヨリ現

ハシテ居リマセヌガ、併シナガラ此補導ガ

進メバ自然只今ノ御希望、御質問ノ御趣旨

ニ副フヤウナコトニナル譯ダト考ヘテ居リ

マス、一言補足致シテ置キマス

○川村委員 所謂口入屋ノ問題ハモウソレ

位ニ致シテ置キマシテ、其次ニ……

○服部委員長 川村君、一寸——今星島君

ガ一寸關聯シテ質問シタイト云ウテ居ラレ

ルカラ、此際星島君ニ御述願ツテ、其次ニド

ウゾー——星島君

○星島委員 私他ノ委員會ニ出テ居リマシテ此委員會ニ出ルノガ遅レマシタノデ、或ハモウ既ニ御質問ガ終ツタカト思ヒマスガ、今ノ點ニ關聯シテ一寸簡單ニ一ツ御問ヲ許シテ戴キタイト思ヒマス、ソレハ營利職業紹介事業法ノ第八條ニ色々禁止規定ガアルノデス、其中デモ殊ニ娼妓酌婦ノ周旋ヲ禁ジテ居ルノデアリマスケドモ、認可事實ハ皆ヤツテ居ル、ソレカラ届出ラシナイ認可ノナイ所謂「ブローカー」ガ澤山アツテ困ッテ居リマスガ、私ノ御尋シタイ點ハ、政府ハ此營利ノ職業紹介事業法ヲ改正サレテ、第八條ノ罰則ヲ藉リズニ——第八條ニ依ラザル隱レタル「ブローカー」ガアリマシテ、娼妓酌婦ヲ斡旋シテ、ソレガ爲ニ極端ナル搾取ヲヤツテ居ル、是ハ社會道德上非常ナ罪惡ナノデアリマスガ、是ガ從來多ク見逃サレテ、假ニ警察犯處罰令等デヤラレテモ、極メテ輕イノデアリマス、是ハ私ハ日本ノ所謂人道ノ爲ニ思切ッテ嚴罰ヲ以テ之ニ當ラレ、且ツ隱レタル紹介業者ニ對シマシテハ、徹底シテ御取締ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ此點ニ付キマシテ政府ハ何カ御考ガアツタデセウカ、將來之ニ對シテ改正サレル御意思ガアリマセウカ、尙ホ從來此法律ハ多ク

警察當局ニ權限ヲ御委セニナツテ居ルノデアリマスガ、折角厚生省ガ出來上ツテ、吾々非常ナ期待ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、實ハ此風俗警察ヲ除イテハ、單ニ警察ニ委セテ居ラレナイノデ、厚生省内ニ特ニ斯ウ云フモノニ關スル監察官ト云フカ、サウ云フモノヲ設置サレマシテ、積極的ニ警察ノ力以外ニ、常ニ巡視シテ御監督ニナル必要ガアリハセスカト思フノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付キマシテ何カ御腹案ガアリマスレバ此機會ニ伺ヒタイノデアリマス
ソレカラモウ一點丁度軍部ノ方ガ居ラレマスカラ御伺シタイノデアリマスガ、是ハ申スコトハドウカト思ヒマスガ、若シ委員長ノ御許ヲ得マシテ速記ヲ止メテ戴クコトガ出來レバ結構ダト思ヒマス
○服部委員長 一寸速記ヲ止メテ……〔速記中止〕
○星島委員 デハ速記ヲ付ケテ下サイ
○服部委員長 ソレデハ速記ヲ付ケテ……
○星島委員 私ノ希望ハ、折角厚生省ガ出來タノデアリマスカラ、苟モ斯ウ云フ種類ニ關スルモノハ全部厚生省ノ方ニ御取リニナツテ、サウシテ現在アル所ノ第八條ニ對シテハ的確ナ罰則モナイノデ、唯認可取消位ノコトニナツテ居リマスカラ、是等ニ對シテ

ハ將來嚴罰ニ處スルト云フ方針ノ下ニ、而モソレハ厚生省デ立案シ、厚生省デ管轄サレルヤウニ進メラレンコトヲ私ハ希望シテ私ノ質問ヲ終リマス
○松浦委員 私陸軍ノ政府委員ノ御方ガ御見エデアリマスカラ、此機會ニ本法案ト軍器調整ノ爲ニ使用致シマスル勞務者トハ、重大ナル關係ヲ及ボスモノデアリマスルカラ、二三御尋ヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、尙ホ海軍ノ問題モ併セテ申上ゲテ置キマスカラ、後日海軍ノ方ニ御出席ヲ願ッテ御答辯戴ケバ幸デアリマス、本法案ノ第一條ニアリマス「勞務ノ適正ナル配置ヲ圖ル」ト云フノガ本案ノ主要ナル點デアルト思フノデアリマス、其意味ニ於キマシテ聊カ參考資料ト申シマセウカ、併セテソレ等ノ問題ニ付テ御答辯戴ケバ幸デアリマス、或ハ軍機ニ關スル問題ダト云フノデ、御答辯ガ戴ケヌ點ガアルカモ分ラヌ、又數字ヲ御明示戴クトカ、場所ナドヲ御明示戴クコトガ不可能デアアルカモ分リマセヌガ、ソレハ私ハ敢テ追究ヲ致サヌノデアリマス、御差支ナイ範圍デ結構デアリマスガ、私ガ承ラントスル氣持ノ問題ダケヲ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス
其一ハ陸海軍ノ國營軍需工場ノ所在地デ

アリマス、之ヲ御明示願ヒタイト思ヒマス、其二ハ陸海軍ノ國營軍需工場ニ於テ調整スル其品目種類、第三ニハ右陸海軍ノ國營ノ軍需工場ノ各所別使役スル所ノ勞務者ノ男女別人員數、及ビ年齡ノ状態ヲ御示シ願ヒタイノデアリマス、第四ハ右工場ヲ事變前ト事變後ト、二種ニ分ケマシテ御知ラセ戴クナラバ仕合ダト思フノデアリマス、第五ハ右職工ガ事變發生後ノ今日ニ於テ、全ク不慣レノ職工モアルカト思ヒマスガ、指導ノ下ニ順次向上熟練シツ、アルモノト思フノデアリマスガ、其製作ニ支障ハ來シテ居ナイカ、不慣レナガラニモ熟練シツ、アツテ、其機能ヲ十分發揮シツ、アル傾向ガアルカナイカト云フコトヲ、御尋申上ゲルノデアリマス、第六番目ニハ、國營及ビ民營ノ軍需工業ヲ合セテ各府縣別ニ其生産高ヲ御明示願ヒタイ、第七番目ニハ軍器及ビ資材ノ貯藏所ニ使用スル所ノ勞務者ヲ各所別ニ、是ハ延人員デ結構デアリマス、第八番目ニハ國外ヨリ輸入スル所ノ軍器ニシテ、國內ニ於テ勞力ノ供給ガ圓滑ニ行ケバ、資材ヲ輸入シテ加工生産スレバ、國民ノ經濟力モ強化スルヤウニ思ハレルノデ、是ガ實際ニ行ハレルカドウカ、以上八ツノ點デアリマスガ、其中デ最前申上ゲル通り、軍ノ

機密ニ關スル問題ト云フコトデアレバ、敢

日本ノ國ノ國內ノ状態ニ於キマシテハ、或

ノ縣……

差向ケタラドウカ、四國ハ島國デアリマス

テ追究ハ致サヌノデアリマスガ、ナゼ私ガ

ル一部ニハ軍需工業ノ旺盛ナ爲ニ勞力者ガ

○服部委員長 松浦君、成ベク本案ニ即シ

テ願ヒマス

斯ウ云フヤウナ質問ヲシテ見タイカト云フ

ニシテ、餘剩勞力ガアルト云フヤウナ状態

○松浦委員 本案ニ大イニ關係ガアリマ

ス——百分ノ一ト申シマスナラバ、即チ今

其理由ヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマ

ス、本法ノ骨子タルモノハ最前申上ゲタヤ

次事變ノ本年度、即チ十二年度ノ豫算ヲ見

マサルニ二十六億ノ費用ヲ要シテ居ルノデ

置ガ目標デアリマスガ、私ハ職業紹介所ヲ

以テ如何ニ御斡旋ナサルトモ、此勞務ノ適

アリマス、其百分ノ一、二千六百萬圓ハ香川

縣民ノ負擔ニ屬スルヤウニ思フノデアリマ

正ノ配置ト云フモノハ、萬全ヲ期シ得ラレ

ハシタイノデアリマス、私ノ縣ハ人口稠密

ス、然ルニ其反面ニ於テ、以前申上ゲタヤ

ト思フ、出來得ル限り此家族制度ヲ保持シ

ナイト思フノデアリマス、我が日本ノ國ハ、

御承知ノ通り農業本位ノ國デアリマスカラ、

ウナ次第デ、工業ノ發達ガ非常ニ乏シキ關

置スルノ必要ガアルト思フノデアリマス、

其勞働者ニ於キマシテモ、農村ノ餘剩勞力

アリマス、内閣統計局ノ調査ニ依リマス、

係上軍需工業ノ生産額ハ極メテ僅少デアリ

場ヲ設置シ、生産ノ擴充ヲ圖レバ宜イノデ

ト云フモノガ相當澤山アルノデアリマス、

此餘剩勞力ト云フモノハ、唯紹介網ヲ造リ、

所ガ、百三十萬圓位シカナイノデアリマシ

テ、二千六百萬圓ノ縣民負擔ニ屬スル軍事

連絡統制バカリヲシマシタノデハ、私ハ適

ケノ問題デアリマスガ、斯ノ如ク人口稠密

費デアリ、其酬ヒラレル所ハ僅ニ百三十萬

圓ト云フヤウナ状態デアリマス、故ニ私ノ

正ナル配置ハ出來ナイト思フ、ソレヨリハ

デアリナガラ、私ノ縣ハ遅々トシテ工業ガ

圓ト云フヤウナ状態デアリマス、故ニ私ノ

工場ヲ持ッテ居ルノデアアル、被服廠トカ、

寧口或ハ適當ノ箇所ニ軍需工場ヲ設ケル、

即チ水ノアル箇所ニハ纖維工業ヲ發達致サ

縣ハ極メテ閑散デアリマシテ、勞力者ハ決

シテ拂底致シテ居リマセヌ、中國筋、大阪

ウシテ經濟力ノ強化ヲ圖ッテ行ク、又一面ニ

於テ水ノ關係ノ最モ潤澤デナイ土地ニハ、

或ハ軍需工業ノ盛大ナ土地ニ於キマシテ

ハ、熟練工ニ至ッテハ一日最高八圓、最低二

水ノ要ラナイ工業ヲ起シ、サウシテ其地方

ノ勞力者ヲ使ッテ、其製造ノ機能ヲ十分發揮

圓乃至三四圓位ノ收入ヲ得テ居ルノデアリ

マス、然ルニ私ノ縣ハ依然トシテ一圓以內

シテ行クヤウニシテ行カナケレバナラヌト

思フノデアリマス、所ガ最近ニ至リマシテ

ノ勞働賃銀デアリ、縣營或ハ市營ヲ以テハ

七八十錢ノ勞務者ヲ使役致シテ居ルノデア

國內ノ状態ヲ色々考ヘテ見マスノニ、我が

マスルノニ、全國ノ費用ノ約百分ノ一ハ私

リマス、然ラバ其勞務者ヲ軍需工業方面ヘ

話デアリマスケレドモ、私ハ大ナル關係ガ

アルト思ッテ居リマスカラ、申上ゲテ置キマス、尙ホ政府委員ノ近藤サンハ私ノ縣ノ警察部長ヲシテオイデニナリマシタカラ、ドウソツ香川縣ノ實情ニ照シテ、私ノ申上ゲルコトガ若シ違ッテ居ラナケレバ適當ナ御答辯ヲ承リタイノデアリマス

○山脇政府委員 中ニボツ／＼工合ノ悪イコトガ出テ來ルノデ、速記ヲ中止サレ、バ自由ニ御話出來マスガ……

○服部委員長 ソレデハ速記ハ中止シテ……

(速記中止)

○服部委員長 速記ヲ始メテ……

○山脇政府委員 軍需工場ヲ、適地適業デヤッタラドウカト云フ終リノ御意見デゴザイマシタ、陸軍自體デ持ッテ居ル製造諸廠ノ位置ハ色々ナ關係ガゴザイマシテ、現在ノヤウニナッテ居ルノデゴザイマス、先ヅ軍事上カラ申シマスレバ、アトノ豫想作戰地方面ニ對スル輸送ノ便利ト云フコトガ、極ク大切ナコトデアリマス、各地方ノ工業ノ發達ノ歴史ト云フコトハ、是ハ看逃スコトガ出來ナイノデアリマシテ、殊ニ一部ヲ軍デ造リ、其加工ヲ民間ニ委託スルト云フヤウナ工業ニアリマシテハ、ドウシテモ其地方ノ工業状態ニ依ラナケレバナライコトニナッテ居ルノデゴザイマス、是ハ機械工業ニ

於テ特ニ多イノデゴザイマスガ、被服糧秣

方面ノ整備ニ付キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ多クハ地方ニ依存シテ居ルノデゴザイマシテ、平時ニ地方デ民需トシテソレダケノ生産力ヲ捌イテ行キマシテ、サウシテ戰時ニナッテ其生産力ヲ擴充シテ、軍需ヲ滿シテ行クコトガ出來ルト云フコトニナリマスレバ、是ハ問題ハナイノデアリマシガ、平時カラ戰時ニ互ッテ總テ軍ノ需要ニ依ッテ行クト云フノニハ、現在以上増加スルコトハ困難デハナイカト考ヘマス、軍需工場ヲ作ッテ貫ヒタイト云フ御話ハ、各地方カラ今マデ能ク御相談ヲ受ケルコトデゴザイマスガ、ドウモ平時戰時ヲ通ジマシテ、一カラ十マデ軍ニ御頼リニナリマシヤウナ工場ハ、中々事實上經營ガ困難ダト思フノデゴザイマス、ヤハリ平時ニハ其設備ノ一部ヲ軍ノ方デ註文スル、軍ノモノヲ一部デ造ル、サウシテ其外ハ民需品ヲ拵ヘル、而シテ戰時ニナレバ民需品モ造リマスガ、尙ホソレヲ擴張シテ軍ノ註文ヲ大規模ニ受ケル、斯ウ云フ工合ニナリマセスト、中々經營ガ出來テ行カナイト思フノデゴザイマス、サウ云フ關係ガアリマスノデ、色々御相談ガアリマスガ、結局困難ナ狀況ニナッテ、實

現ガ困難ニナッテ來ルノデアリマス、唯軍事

豫算ヲ成ベク地方ニ還元スルト云フコトハ、

私共極メテ必要ナコトダト考ヘテ居リマシテ、其御趣旨ハ全ク御同感デゴザイマス、サウ云フ工合ニ努メテ居ルノデゴザイマスガ、中々是モ實行シテ見マスト、地方ノ方デ案外持ッテ來ラレナイ狀況ガアルノデアリマス、只今香川縣ノ御話ガゴザイマシタガ、先達テ私ガ大阪デ見マシタ所デモ、四國方面ニ對シマシテ被服ヲ縫フコトヲ色々々德憑致シマシテ、希望ノ縣カラ若干ノ人ガ來マシテ、教育モ受ケテ歸ツコトガアリマスガ、儲テヤッテ見マスト、案外ムツカシウゴザイマシテ、其中デ本當ニ註文ヲ受ケテ下サル地方ハ一部分ト云フヤウナ狀況ラシイノデアリマス、軍ト致シマシテハ努メテ此事ハ努力ハ致シマス、致シマスガ、實行ニ於テハ色々ナ困難ガアリマスコトハ御諒察願ヒタイト思ヒマス

○松浦委員 簡單ニ今一ツ御尋申上ゲタ

イ、只今陸軍ノ政府委員カラ親切ナ御答辯ガアリマシタガ、私ガ香川縣ト言フノハ、唯其一例ヲ申上ゲタ迄デアリマシテ、私ノ縣ノドウ斯ウト云フ問題ヲ、此職業紹介法ノ審議ニ際シテ申上ゲタノデハナイノデアリマス、ドウゾ御諒承願ヒマス、出來得ル限リ軍ハ地方還元ノ意味ニ於キマシテ、各

地方ニ興業心ノ——投資的氣持ノナイ所デ

モ、所謂長期戰ニ當リマシテ、國民精神總動員ノ上カラ見テ、且又今次事變ニ對スル地方ノ犠牲カラ考ヘマシテモ、將來ノ國防上カラ考ヘマシテモ、軍需工場ノ分散主義ヲ執ルト云フコトガ私ハ最モ緊要デアルト思フノデアリマス、其間ニ陸軍當局ノ或ハ手數ヲ要シ、指導ノ任ニ當ルコトハ相當御迷惑ト思ヒマスガ、全國的ニ本法案ニアリマス勞務ノ關係ガ重大ナ關係ヲ持ツモノデアリマスカラ、隨テ農村ノ餘剩勞力ヲ利用スルコトハ大事デアリマス、一層軍當局ノ御配慮ヲ得マシテ、分散主義ヲ御執リ下サルコトヲ御願申上ゲテ私ノ質問ヲ打切りマ

○山脇政府委員 今言殘シマシタコトヲ補

足サセテ戴キマス、軍需工場ト言ハレマシテモ、是ハ軍需品ヲ註文シテ居ル工場ト、軍自體ガ持ッテ居リマシテ軍需品ヲ造ッテ居ル工場ト、兩方ノ意味デ御述ニナッタノデハナイカト私ハ承ルノデアリマスガ、軍自體デ持チマス工場ハ事變ニ於ケル軍需品ノ整備ノ關係カラ申シマシテ、ヤハリ一部デアリマシテ、多クハ外ノ工場ニ依存ヲスル立前ニナッテ居リマスノデ、先程申上ゲマシタヤウナ必要ナ品物ハ、是ハ自分デ造ラナ

ケレバナリマセヌカラ、其部分ハ擴張致シマスガ、多クハ民間ノ工場ニ註文スル、斯ウ云フコトニナツテ参リマスノデ、其民間ノ工場ハ平時戰時共ニ經營ガ出來テ行カナケレバナリマセヌ、ソコデ平時ノ軍ノ註文ハズツト少クナルト云フコトヲ考ヘマシテ、ソコニ經營上ノ問題ガ起ツテ來ルト云フコトハ、考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ尙ホ軍需品ノ註文ヲ致シマス工場ノ工員ノ募集ニハ、今ハ軍ハ觸レテ居ナイノデゴザイマス、軍直接ニハ觸レテ居ナイノデゴザイマス、管理工場ニ於テモ、其募集ニハ觸レテ居リマセヌ、ソレカラ軍自體ノ使ヒマス勞務者ノ募集ハ、是ハ管區毎ニ管理者ガゴザイマシテ、必要ノ部隊カラ其管理者ヲ經テ、サウシテ其方面ニ厚生省カラ出テ居リマスルヤハリ一ツノ機關ガゴザイマシテ、之ヲ通ジテ廣ク募集ヲシテ居ルノデゴザイマス、其一ツノ管區デ出來ナクテ、他ノ管區ニ勞務者ガ餘裕ガアルト云フノニ對シマシテハ、陸軍省カラ厚生省ニ陸軍ノ需要狀況ヲ常ニ速報致シマシテ、モウ一ツ上ノ所デ之ヲ調節スル、斯ウ云フ狀況ニナツテ居リマス、大體今マデハ陸軍勞務者ノ所要ノ半分ヲ職業紹介機關ヲ通ジテ雇ヒマシテ、半分ハ縁故募集、其外ノ直接ノ方

法デ雇ウテ居ルノデゴザイマスガ、從來ハ職業紹介機關ガ不十分デゴザイマシテ、而モ是ガ廣ク網ヲ張ラレテ居ナイ爲ニ、廣イ地域カラ平均ニ故障ナク滑ラカニ探ルト云フコトニ非常ナ不十分ガゴザイマシテ、此點ハ軍需整備上ニモ非常ニ不便ヲ感ジテ居ル所デゴザイマス、斯ノ如キ法案ガ通過致シマスレバ、此點ハ軍トシテモ洵ニ都合好クナルト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○服部委員長

川村君ニ一寸申上ゲマス、

時間モ大分過ギマシタノデ、關聯質問ガアツテ、アナタニハ洵ニ御氣ノ毒デアリマスケレドモ、此程度デ本日ハ散會致シマシテ、明日引續キマシテアナタノ質問ヲ許スコトニ致シマスカラ、左様御諒承ヲ願ツテ置キマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時二十三分散會

昭和十三年三月十一日印刷

昭和十三年三月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局